まちの話題

Machi no Wadai

市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp

みんなの力を合わせて捜索

徘徊（はいかい）高齢者捜索模擬訓練

認知症に対する知識を深めるとともに、地域で見守りながら、いざというときに適切な支援を行えるようにしようと2月7日、アイ･モール･イオン三好店を会場に、徘徊高齢者捜索模擬訓練が行われました。午前中には、特設会場のステージで、「手と頭の体操」や「歌を通した回想法」と題した懐かしい曲を中心としたライブなどが行われました。また、特設会場内には、みよし市社会福祉協議会や特別養護老人ホーム安立荘（あんりゅうそう）などがブースを出展。訪れた人たちはゲームに参加したり懐かしい品を手に取ったりして、思い思いに楽しい時間を過ごしながら、認知症についての知識を深めていました。午後からは、アイ･モール･イオン三好店内全域を使って徘徊高齢者捜索模擬訓練が実施され、参加者は徘徊者役に扮した3人を、店内の隅々まで一生懸命に捜索していました。

一流奏者の技術に触れる

名古屋フィルハーモニー交響楽団ワークショップ ～音楽を「名フィル」に学ぼう!～

名古屋フィルハーモニー交響楽団の楽団員たちが講師として、県内の吹奏楽部で活動している中学生や音楽が好きな小学生を対象に2月1日、楽器演奏の指導や鑑賞指導などを行う名古屋フィルハーモニー交響楽団ワークショップ～音楽を「名フィル」に学ぼう!～がサンアートで開催されました。みよし市内の他、豊田市や名古屋市から中学生41人と小学生8人が参加。各パートに分かれて、楽器の持ち方や吹き方などの技術だけではなく、演奏するときの姿勢や練習するときに心掛けると良いことなど、楽器演奏に関するさまざまなことを学びました。最後には全パートが集まって合同演奏が行われ、見事なハーモニーを奏でていました。

たくさん食べて大きくなってね

すくすく教室

子どもの発達に応じた栄養や離乳食について理解してもらおうと2月4日、保健センターですくすく教室が行われました。この教室は生後7カ月ごろの子どもと保護者を対象に毎月行われているもので、今回は7組の親子が参加。初めに保健師から乳幼児の事故防止について話を聞いた後、管理栄養士から「食材の硬さや味を確かめるために、ママが味見をすることが大切」や「お茶はご飯を全て食べ終わってから飲ませると、食べ物を流し込んで食べる防止になり、お口のケアにもつながる」などのアドバイスを受けました。続いて実際に離乳食の試食が行われ、おかゆの硬さや味付けを確認していました。参加した父親の一人は「初めての育児なので、とても参考になりました。また機会があれば、ぜひ参加したいと思います」と笑顔で話していました。

交通事故に遭わないために

シルバー交通安全教室

高齢者が悲惨な交通事故に遭わないように、また交通事故を起こさないように、交通安全意識の高揚を図ってもらおうと2月4日、福谷町の中部トラック総合研修センターでシルバー交通安全教室が行われ、市内21の老人クラブから85人が参加しました。初めに豊田警察署交通課の三浦昇（みうらのぼる）課長が「自宅近くなどの慣れた道では、つい注意が散漫になることがあります。どんなときも交通ルールを守り、事故に遭わないように気を付けてください」などと話すと、参加者はメモを取りながら熱心に話を聞いていました。その後、自転車シミュレーターによる自転車走行体験学習が行われ、交差点や細い路地など、講師のアドバイスを受けながら、注意して運転していました。

今日のメニューはなにかな?

学校給食センター見学･試食会

市内の保育園8園、小学校8校、中学校4校の給食を作っている学校給食センター。子どもたちがいつも食べている給食のことを知ってもらうとともに、食育に関心を持ってもらおうと2月5日、学校給食センター見学･試食会が行われました。この日参加した15人は初めに、学校給食センターの職員から給食の目標や調理方法、衛生管理などについての説明を聞いた後、実際に給食を作っているところを見学。「調理している人の服が色分けされている理由はなんですか」や「出来上がった給食の味見はしますか」など熱心に質問をしながら給食について理解を深めていました。最後にこの日の給食メニューである、さばのおろし煮や根菜のごま汁などを試食すると「味付けは濃くないけど味がしっかりしていておいしい」など、久しぶりの学校給食を昔を思い出しながら楽しんでいる様子でした。

良い睡眠で心を元気に

こころの健康講演会

睡眠と健康の関係性について理解してもらうことで、健やかな生活を送ってもらおうと2月9日、「よい睡眠をとってこころもからだも健康になりましょう」と題した講演会が保健センターで行われ、37人が参加しました。講師に名古屋大学大学院医学系研究科睡眠医学講師の藤城弘樹（ふじしろひろしげ）さんを招き、睡眠と健康の関係性や高齢者のこころの健康などについて、分かりやすく解説しました。良い睡眠をとるための具体的な方法として、眠る前にぬるめの風呂にゆっくり入ること、眠るときは部屋の明かりを暗くすること、起床時間を毎日規則的にすること、起床したら朝日をしっかり浴びてから朝食を食べることなどが紹介され、参加者は熱心にメモを取りながら、睡眠の大切さについて理解を深めていました。

時代の流れを感じながら

ひな人形展

昭和58年から歴史民俗資料館で毎年この時期に開催され、今年で33回目を迎えたひな人形展。今年のテーマは「世代を超えて受け継がれる人形たち」。江戸時代から平成に至るまでの間に飾られた、数々のひな人形が展示されています。これらの人形たちの多くは、市民の皆さんから歴史民俗資料館へ寄贈されたもの。それぞれの家庭で世代を超えて大切に受け継がれ、さまざまな思いが込められています。2月11日に会場を訪れた男性の1人は「みよし市の歴史民俗資料館は三河地域の中でも展示数が多く、見応えがあるので毎年楽しみにしています」と話していました。また、今年は歴史民俗資料館・石川家住宅・サンアート・ふるさと会館の4会場にひな人形が展示され、スタンプラリーを実施。全てのスタンプを集めた男の子は「これで全部押せたよ」と笑顔で話していました。